

世は アンチエイジングの時代。年齢や経験の積み重ねで磨きあげた“成熟からなる美しさ”で輝く女性たちをご紹介します。

THE BEST OF ME

～最高の今を写真で記録する～

She's Story

これまでの返上し、軽やかに。新たなスタートを決意する大人記念美。



今月の「大人記念美写真」にご登場いただいたのは、宮崎市で「エンブレム仏蘭西」というスナックを経営されている井上 知華さん。開店から35年というお店は、もともとお母さまが始められたもの。そこを約12年前に二代目として引き継がれました。そして、私生活では7歳と2歳の2人の息子さんを持つシングルマザーとして、新たな人生をスタートしたばかり。

「私が3歳の時に両親が離婚しまして、その後は父と継母、その間に産まれた弟と暮らしていました。父は転勤が多く、中学生の時は父の赴任先のフィリピンで暮らしました。高校に入ってから、産みの母の存在を知り、それから母と一緒に住み始めたんです」

高校卒業後はOLをしながら、時々店の手伝いはされていたそうですが、お店を引き継ぐ気は全く無く、19歳の時には、ひとり県外に出られたのだそう。

「幼い頃からずっと家庭を持つのが夢でした。転々と落ち着かない人生だったので、早く落ち着きたくて…。自分の居場所が欲しかったんだと思います。そうしながらも中々落ち着かず、しばらく離れていた宮崎の母の家に一旦戻った時に、母親から「そろそろ店を縮小しても良いと思っているの。あなたやらない？」と話があり、何かが変わるかも知れないと思って引き受けました。自分の店を持つことで、やっと腰を据えることができた気がします」

馴れない夜の仕事。それも経営者としての挑戦。“母の土台があるから”と思ったものの、最初は肩肘を張っていたといいます。

「3年目位から、やっと肩の力を抜いてやれるようになって、子供産んでからは、良い意味でいい加減にもやれるようになったかな…」

一人になった今は、お仕事はもちろん、下はまだ2歳、上のお子さんは、サッカー、スイミング、ピアノ、塾と複数の習いごとがあり、将来のために、何か資格をとりたいとも思いつつも、子育て、家事、仕事で手一杯。

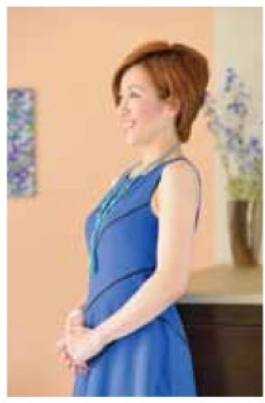
「エステWAMで、ボディやフェイシャルのトリートメントを受けている時が、唯一の自分の時間であり、息抜きです。WAMに何う時は、いつも疲れ果てています(笑)。大酒飲みだし、美容には気を使えていないのですが、自宅ではWAMさんで購入した水素風呂に入っています。それがスゴく良いんですよ。下の子はおむつをしているのでお尻に乾燥湿疹が出てたのですが、それもキレイになりました」

エステWAMで自分を磨くことは、若さを保ったり、綺麗でいられるためでもあるけれど、何より磨こうとしている自分が好きだという千華さん。

「離婚して、シングルマザーというと、世間からは可哀想だとか、大変そうだと思うようですが、私自身は前向きな決断。いつまでも2人の息子たちの母として、輝く女性でいたいんです」

元ご主人のご実家とは円満な関係で、夜はお子さんたちをご両親が率先して預かってくださっているそう。離婚の相談を切り出した時も「今まで息子の面倒をみてくれて有り難う。子供も産んでくれて有り難う」と仰ってくださったのだとか。

今回はポジティブな離婚を記念した“決意の1枚”となりました。



anne(アンヌ)はcoletteの
お姉さんの存在です

井上 知華さん(40歳)

Chika Inoue
自営業

●Hair 担当●
AgeeWAM 宮崎店